



トマト通信

愛媛県議会議員

本宮いさむ

県政レポート

発行所 本宮いさむ事務所

〒799-1527 今治市長沢甲 1045 番地 6

TEL0898-47-1393 FAX0898-47-1693

令和2年度9月補正予算

コロナ対策と緊急防災・減災対策に力点を置きました！



愛媛県は9月4日、一般会計162億2,585万円の9月補正予算案を発表しました。新型コロナウイルス感染症への対応として97億4,933万円を計上するとともに、季節性インフルエンザの流行期に備えるため、新型コロナウイルスの検体採取を担うことのできる地域外来・検査センターを県内6医療圏ごとに設置し、10月以降に順次運用を開始します。このことで、医療機関の負担軽減を図ることができ、このことで、新型コロナウイルス関連予算はこれまでの補正を含め1060億円となりました。このことで、2020年度の一般会計予算は前年と比べると15.1パーセント増え、累計766億4,925万円となっています。

また、感染者が出た場合に備え、福祉施設間で相互応援する「イーウェルネット」では、職員を派遣した法人などに1人当たり最大10万円の協力を支給します。また、お子さんの誕

生を不安抱きながら迎える妊婦の方に対する分娩前のPCR検査の無償化や、高齢者福祉施設の複数で使用する部屋を個室に改修する費用の補助など、コロナ感染症の拡大防止に向け、様々な対策を実施します。

また、コロナ禍によって生活維持が困難になった減収世帯を対象にした無利子での特例貸し付け枠を22億円に増額しました。(県のコロナ対策についての詳しい内容は裏面にあります)

コロナ関連以外では、西日本豪雨災害や令和2年7月豪雨災害などを踏まえ、県民の安全・安心を確保するため、道路の安全対策や砂防堰堤の整備、河床掘削など緊急に行うべき県独自の防災・減災対策を積極的に推進します。また、当初予算と国の3か年緊急対策を活用した道路安全対策や河床掘削の県単前倒し分を合わせた予算額は、前年度9月補正後を上回る規模となりました。

令和2年9月補正予算の主な内容

- 一般会計 162 億 2,585 万円
【累計 7,666 億 4,925 万円】
- 特別会計 3(国民健康保険事業) 5,234 万円
【累計 2,599 億 1,587 万円】

- I 新型コロナ対策として、医療・検査体制等の一層の充実を図るほか、企業の新たな事業展開や住民生活の維持を引き続き支援する。
- II 西日本豪雨災害への対応として、市町の災害復旧事業を受託して進捗を促進するほか、県民の安全・安心を確保するため、県独自の緊急防災・減災対策(避難道路や河川、砂防施設等の整備)を積極的に推進する。
- III プロ野球オールスターゲームの開催に向けた機運醸成など、当面する課題に対応する。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応 : 97 億 493 万円

コロナ対応予算総額 : 1,060 億円
(令和元年度 : 5 億円 令和2年度 : 1,055 億円)

(1) 医療・検査体制等の充実 74 億 6,478 万円

- ① えひめ福祉支援ネットワークに参画して応援職員を派遣する法人への協力金の支給 390 万円
- ② 妊産婦に対する分娩前 PCR 検査の自己負担を無償化するための支援金の支給 1,520 万円
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策応援基金への寄附金の積立 4,303 万円
- ④ 県内6医療圏域におけるドライブスルー方式などによる PCR 検査体制の構築 1 億 9,200 万円
- ⑤ 高齢者福祉施設が実施する個室化改修への支援 156 万円
- ⑥ 医療従事者等応援手当の支給や感染症患者の受入病床確保(下半期分) 67 億 584 万円
- ⑦ 無症状や軽症患者の療養を行うための宿泊施設の借上および運営(下半期分) 3 億 8,804 万円
- ⑧ 感染症患者受入病院の医療従事者への宿泊費支援(下半期分) 5,077 万円
- ⑨ 衛生資材や検体の搬送などに係る保健所の体制整備(下半期分) 6,444 万円

(2) 新たな事業展開と生活維持への支援 22 億 4,015 万円

- ① 県内企業へのマスク生産設備の導入や感染症対策製品の販路開拓の支援 3,253 万円
- ② 生活福祉資金の特例措置による生活を維持するための貸付け 22 億円
- ③ 生活困窮者への住居確保給付金の支給 362 万円
- ④ 私立専修学校の授業料減免措置と連動した家計急変世帯の生徒への支援 400 万円

2. 西日本豪雨災害等への対応と防災・減災対策の推進 : 43 億 5,464 万円

(1) 西日本豪雨災害等への対応 9 億 5,784 万円

- ① 市道の災害復旧事業等の受託による早期復旧等に向けた支援 4 億 5,890 万円
- ② 公立福祉施設の災害復旧事業に係る国庫負担率の激甚法に基づく高上げ措置 7,644 万円
- ③ 令和2年7月豪雨により地すべりが発生した大洲市矢の口地区の対策工事 3 億 6,947 万円
- ④ 令和2年7月豪雨により法面が崩壊した川之石高校実習園の災害復旧 5,303 万円

(2) 県独自の緊急防災・減災対策 : 22 億 1,862 万円

- ① 緊急輸送道路等の整備 5 億 7,840 万円
- ② 河川、海岸、港湾施設の改修 3 億 8,576 万円
- ③ 河川の氾濫を防止する河床掘削の推進 10 億 1,440 万円
- ④ がけ崩れ防災対策の促進 1 億 1,860 万円
- ⑤ 土砂災害を防止する砂防施設の整備 2 億 9,964 万円

3. 当面する課題への対応 : 22 億 1,862 万円

《うち国民健康保険事業特別会計 5,234 万円》

- ① 令和4年のプロ野球オールスターゲーム開催に向けた機運醸成 965 万円
- ② 市町の事務負担軽減を図るための健診予約システム等の機能向上《国保特別会計》 5,234 万円
- ③ 税制改正に対応するための県税システムの改修 9,989 万円
- ④ 財政基盤強化積立金への決算剰余金1/2相当額の積立 20 億 5,674 万円
- ⑤ 郷高架橋(八幡浜道路)の工期延長に伴う債務負担行為 (債務負担行為 3 億 6,751 万円)

新型コロナ対策特集

これが愛媛県のコロナ対応です!!

今回の補正予算で進められる愛媛県のコロナ対応は、次の内容です。

「医療・検査体制などの充実」

○福祉施設で感染が確認された場合、サービスを継続することができよう、施設間で相互応援を行う「えひめ福祉支援ネットワーク」、イーエルネットの円滑な運用を図り、応援職員を派遣する法人に対して協力を支給します。

○妊産婦の不安軽減を図るため、分娩前にPCR検査を無償化。検査を実施する医療機関に支援金を支給します。

○この事業、協礼金および支援金の財源については、個人や法人からの寄付を積み立てた新型コロナウイルス感染症対策応援基金を活用します。現在、新たに寄せられた寄付を同基金に積み増しをした結果、累計7400万円が寄付されています。

○季節性インフルエンザの流行期に備え、各医療圏域におけるドライブスルー方式による検体採取やPCR検査の実施体制を構築するため、県内6日所に地域外来・検査センターを設置し、10月以降に順次運用を開始します。

○高齢者福祉施設が取り組む施設内の個室化への改修を支援します。

○医療従事者へ応援手当金を支給するとともに、ウイルス検査体制の強化やPCR検査に必要な検査試薬の購入、遺伝子解析装置の整備、応援職員による検査体制の強化など、県内の検査体制の強化と医療提供体制の拡充を図ります。

○医療崩壊を防ぐため、重症化のおそれのない中等症患者を受け入れる重点医療機関の確保や、補助対象入院病床確保のための空床補償や搬送などの調整により患者の受入調整を行います。

○重症患者の病床確保等を図るため、無症状や軽症患者の療養を行う宿泊施設を確保します。

○深夜に及び長時間勤務や勤務場所までの長距離移動等で負担が増大している医療従事者の負担軽減を図るため、宿泊費用を助成します。

「新たな事業展開と生活維持への支援」

○感染予防と社会経済活動に不可欠な衛生用品の県内での安定確保を図るため、県内企業のマスク生産設備の導入や、県独自の協力を活用して開発された医療用陰圧テントなどの販路開拓を支援します。

○コロナ感染症の影響により、収入が減少した世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金貸付金の原資を県社会福祉協議会に補助します。

○生活困窮者に安定した居住環境を提供するため、住居確保給付金の支給や一時生活支援を行います。

○家計が急変した世帯の生徒さんの負担軽減を図るため、私立専修学校が実施する授業料減免措置に上乗せの支援をします。

コロナ感染症の有効な薬やワクチンが開発できるまで、私たちは不自由な生活を強いられます。ウィズ・コロナの生活を乗り切るため、私たち愛媛県議会議員は、医療・検査体制等の一層の充実を図り、企業の新たな事業展開や住民生活が維持できるように支援を後押しします。



私たちができる新型コロナへの対応

1. 3つの密を避けましょう

3つの密とは、「密閉」「密集」「密接」です。

- 密閉・・・いわゆる換気が悪く、閉鎖的な場所。
- 密集・・・人が多く集まり、密集するような場所。
- 密接・・・人との距離が近く、近い距離で会話などが行われる場面。

対面で、2m以内の接触が一定時間以上続くと、リスクが高くなるといわれます。この3つの密が重ならないように工夫しましょう。

2. 不要不急な外出は避けましょう

不要不急な外出を控えることが大切です。また、企業によっては、時差出勤やテレワークを実施しているところもあります。病院への受診についても、慢性疾患やお薬の処方がある場合でも、極力、外出は控えましょう。

3. 手洗いと咳エチケット

ドアノブやスイッチなど、意外なところにウイルスが付着していることもあります。外出先から帰ったら、石けんを使用して、こまめな手洗いを心がけましょう。

また、咳やくしゃみをする際には、マスクやティッシュ、ハンカチなどを使って、口や鼻を覆

いましょう。マスクは、他人にウイルスを感染させないために有効です。

4. 日々の健康チェック

- ・毎日、決まった時間に体温を測る
 - ・咳や痰などの症状がないか
 - ・倦怠感はないか
 - ・においや味などの感覚に変化はないか
 - ・喉の痛み、頭痛があるかないか
- などをチェックしましょう。

また、日々の健康を保つには、運動と食事が大切です。ラジオ体操やストレッチなどを行ったり、足踏みや屈伸、スクワットを試してみましょう。免疫力を高めるため、規則正しい生活と、バランスの良い食事をしっかりととりましょう。

5. 体調不良を感じたら相談を

新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザの症状とよく似ています。心配なときには、かかりつけ医にご相談されることをお勧めします。

また、ご家族や友人と電話で話すなど、コミュニケーションを意識的にとるようにしましょう。日々の不安の解消にも繋がり、心身ともに健康を保てます。

ご迷惑をお掛けしております。

今年度は、新型コロナウイルスの感染対策多くの人が集まるイベントや式典のほとんどが中止や延期となりました。また、多くの人が集まる会議なども、「密」を避けるために人数が制限されています。そのため、皆様方とお話する機会が減り、皆様方との交流が十分に図れておりません。そのもどかしさと、ご迷惑をおかけしたことへの申し訳なさに、心を痛めております。

しかし、私たち愛媛県議会議員は、未曾有の経験であるコロナ感染症への対応を行い、いち早く皆様の生活に安心・安全を取り戻さなければなりません。

皆様の暮らしや県下の経済を守り、安心して暮らせる日常を回復させることが、私たちの務めです。そのためにも、力の限り頑張ります。

